

令和5年度第2回亀岡市総合計画審議会 議事要旨録

日 時:令和6年3月19日(火) 午前10時00分～11:00

場 所:亀岡市役所6階602・603会議室

出席者:会長、副会長

A 委員、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員、F 委員、G 委員、H 委員、
I 委員、J 委員、K 委員、L 委員、M 委員、N 委員、O 委員、P 委員

欠席者:Q 委員

議 題:1. 開会

2. 議事

(1)令和5年度の行政評価結果について

(2)令和6年度の進行管理及び行政評価について

3. 閉会

1 開会

事務局

委員の半数以上の出席により、本審議会が成立している旨、ご報告する。

本審議会は原則公開にて開催させていただく。

議事に先立ち、本日が現任期中最後の会議となるため、副市長からご挨拶を申し上げます。

副市長

第5次亀岡市総合計画がコロナ禍の中で策定され3年が経過した。

本市は、コロナ禍を乗り越え、計画に掲げている環境先進都市や SDGs未来都市の取組をベースに、子育ての分野では子どもファースト宣言、農業振興の分野ではオーガニックビレッジ宣言など、市の方向性を明確に示しながら様々な施策を展開してきた。

また、SNSをはじめとする様々なツールを活用しトップセールスを行うなど、シティプロモーションに力を入れ、市内だけではなく市外に方向性や魅力などを発信してきた。その結果、関係人口が増加し、ふるさと納税の増加や企業誘致そして転入超過の実現に繋がってきたと考えられる。

こうした状況の中、施策のさらなる充実が図られているため、委員の皆様には各事業に積極的な意見と評価をお願いする。

任期中最後の会議ということで、皆様には改めて感謝を申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

2 議事

事務局

亀岡市総合計画審議会条例第5条第1項に基づき、会議の進行は会長にお願いする。

(1)令和5年度の行政評価結果について

会長

議事1、令和5年度行政評価結果について、進行管理部会長 N 委員から報告を願う。

N 委員

今年度は第5次亀岡市総合計画の進行管理がスタートして2年目となる。

今年度の取組としては、令和5年6月5日に開催した第1回進行管理部会において、今年度の行政評価の対象事業として5つの事業を選定した。

8月7日に開催した第2回進行管理部会においては、京都先端科学大学に開所したオープンイノベーションセンター亀岡、ガレリアかめおか3階の多文化共生センターそして、亀岡市保健センターBcomeに現地視察を行った。

10月24日に開催した第3回進行管理部会においては、所管課からの事業説明及び進行管理部会からのヒアリングを実施した。

12月14日には事務局において、理事者ヒアリングが実施された。

2月26日の第4回進行管理部会において、令和5年度の行政評価結果を取りまとめたところである。

令和5年度行政評価結果について詳細を事務局から説明をお願いする。

事務局

資料②(第5次亀岡市総合計画令和5年度行政評価シート)に基づき報告

会長

議事1について質問や意見があればお願いする。

〈質問・意見なし〉

N 委員、全体を通してコメントがあればお願いする。

N委員

第5次亀岡市総合計画の行政評価から取り組んでいる現地視察は通常得られない情報を知ることができた。

多文化共生について、将来、地方でも外国人労働者の受け入れが国の方針に基づき増加することが見込まれ、特に地方の中小企業では、企業単独で対応が難しい課題が生じる可能性があるため、センターが早い段階から支援等の準備を始めることが重要である。

亀岡市保健センターBcomeについては、大変多忙な状況であると伺った。職員体制の充実をお願いするとともに、家庭相談員の柔軟な採用方法を検討し、短時間や少ない日数で勤務したい方を積極的に採用するようお願いしたいと伝えた。

オープンイノベーションセンター亀岡については、積極的な広報が必要であると感じた。

会長

オープンイノベーションセンター亀岡は亀岡市、商工会議所、大学が連帯して活動する施設のため大学だけの施設ではない。

オープンイノベーションセンター亀岡について、大学は様々なツールを活用し事業者に応えている。スマートアグリハウスも開所するため、農業に係る事業者にも周知し手応えを感じているところである。

また、EVに係る講座については、200人規模で開催しているが、残念ながら市内事業者から手が上がっていないのが課題である。これに対しては、亀岡市や商工会議所と協力し進めていく。

N委員

オープンイノベーションセンター亀岡は、大阪や京都市内に隣接しポテンシャルがあると思う。更なる活用を期待する。

(2)令和6年度の進行管理及び行政評価について

会長

議事2、令和6年度の進行管理及び行政評価について進行管理部会長N委員から説明を願う。

N委員

令和5年度は進行管理及び行政評価の新たな取組として、市の内部評価委員である市長、副市長が外部評価委員である進行管理部会に対して、ぜひとも評価してほしいという事業がある場合には行政評価対象事業として追加選定することを可能とした。

また、環境配慮の観点からできる範囲でペーパーレスを推進し、会議資料の電子化に取り組んだ。

令和6年度については、基本的には今年度の取組を継続していく予定である。

令和6年度の具体的な取組予定について、事務局から説明をお願いする。

事務局

資料⑤(令和6年度 亀岡市総合計画審議会・進行管理部会 年間予定表)に基づき報告

会長

議事2について質問や意見があればお願いする。

〈質問・意見なし〉

全体を通して何か質問、意見はあるか。

〈質問・意見なし〉

3 閉会

以上。